とちぎ



6

栃木勤労者音楽協議会

1962



向けよ
ながゝ朝明に融けて
あお空に
消え行く眼見を
——黄金に麥の
実る野に
心はたのし——

ヴェルレエヌ

もくじ

やっと二才になりました……三
今月の例会……四
ニュース……六
わたしは満二才……八
総会報告……一〇
座談会……一二
アップアップで一年たった……一五
先月の例会……一六
来月の例会……一八
お知らせ……二〇

表紙のことば

大中寺は、太平山の山麓にあり七不思議の伝説と共に、広く世に知られた名刹である。

古い山門から眺めた杉並木は実に美しい。殊に小雨にけむる風情が忘れられず、ぜひ機関誌の表紙にと、永い間心にあたためていたが、残念なことに、最近屋根、扉等の腐蝕がひどくなったため、修繕されてしまって、その面影は一変してしまった。こんな事なら、もう少し早く写真にしておけばよかったと悔まれるが、この山門からの眺めは、六月ごろが一番よいと思っていた事とて、致し方がない。

それにしても、これ程由緒ある建物でさえも、時の流れと共にこうして新しくなって行く姿を見たとき、現在の労音のあり方といった点について、一つの啓示を受けたような気がして、しばらくは立ち去りがたいものがあった。

（知久）

やつと二才になりました

私はこの六月で、満二才の誕生を迎えました。私のおいたちは、他の兄弟たちとは一寸おもむきを異にしておりますので、仲よくやって行けるかどうか、最初のころはあやぶまれて居たのですが、それでもたいしたいざこざもなく、満二才の誕生を迎える事が出来ました事を、心から喜んで居ります。

私が生れる時のお産婆さんは、宇都宮労音と栃木市教育委員会という変った組みあわせで、生れおちるまでには、一年間もの長い準備期間を要したそうですが、それでも案ずるより生むが安しの諺の通り、安産の上に、生後の発育も順調で、病気らしい病気一つせずに過して参りました。とは言うものの、ふりかえって見ますと、生れおちた瞬間から、独り立ちで生きる運命を背負っていた私は、一般の人間と違って、最初の一年間はやはり苦労の連続であった様に思います。会議だけに例をとってみても、一年間に実に延一七〇回二日に一回の割で行われていた事になりますし、その他する事なす事が、皆始めての経験でしたのでずい分とまどったこともありました。それでも、財政的には、公民館の使用料を最初の二ケ月間はただにしてもらい、それから後は、ずーっと七割引という事で使用出来ましたしフルコンサートピアノにしてもリサイタルの時以外は無料で貸してもらえましたので、他の兄弟たちと比べると、特に会場難や会場の使用料が高くて苦労している一、二の兄弟と比べると、多少は楽な点もありました。

昨年の五月には、待望の二ステージも実現し、みずからは、健康優良児とうぬぼれてみた時期もありましたが、その後は、身体的な成長よりも、精神的な充実をねらって、もっぱら内外の知識を吸収することに努力したために、年のわりには少しばかりおませになった処もあるかも知れません。この間、関東にも三人の弟たちがつぎつぎに誕生し、しめて八人という大家族にふくれあがりました。今までは五人兄弟の末弟として、あまえん坊なところもありましたがこれからは、お兄さんや弟の間にたって、仲よく暮していけるよう気をつかっていかねばなりません一般の人間世界をみてみますと、普通三才から四才ごろになると、第一反抗期とやらいう心理的な変革期を迎えるそうで、何でもこの時期には、何事も自己中心でなければ気がすまず、自分の思い通りにさえなっていればごきげんで、そのくせ時々おしっこをもらす事もあるといったように、身体の発育と心の発達が、アンバランスな状態になるのが特徴ときいております。

二才に

私からみると、一般人間のたとえるこのような発育段階は、チャンチャラおかしいようなもので、満二才にしてすでに人間でいう第二反抗期くらいの精神年令に達している私（といっては一寸うぬぼれがすぎるでしょうか？）にしてみれば、そう思うのも当然でしょう、それでも人間の場合と共通な点は自己主張に急のあまり、他をかえりみる余裕のないという点、つまり自分の事だけで精一ぱいで、他との協調（妥協にあらず）に乏しい処もあるという点については大いに反省しなければならないのではないかと、一応は考えて居ります。

特に私を盛りそだてて下さっている会員層をみてみますと、他の兄弟たちに例がないくらいあらゆる職種、階層にわたっていて、文字通り街ぐるみの体制になって居りますのでどの人からも愛され、親しまれるよう気をくばって行かなければならないと思って居ります。

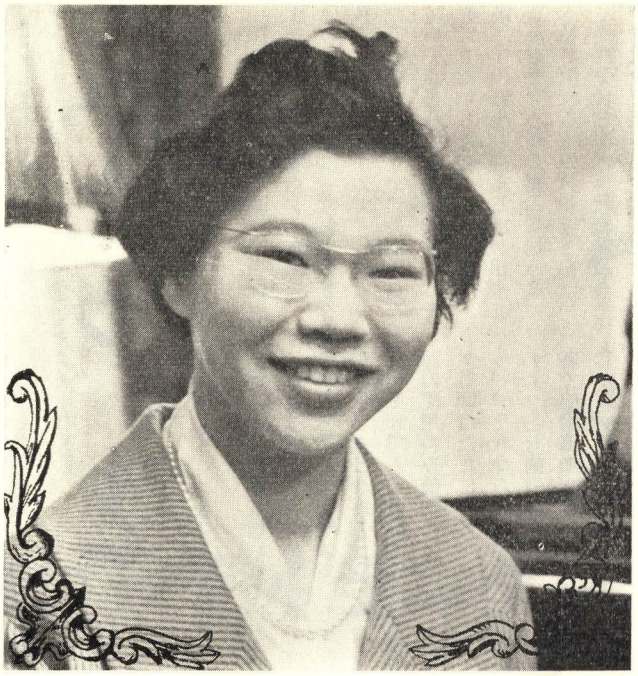
仲々気ばねのおれることですがそうしないと、会員の方たちや、市民の方たちからも、可愛がってもらえなくなってしまいますから一生けん命になって努力して見る覚悟で居ります。そして名実共に他人に迷わくをかけず、あまり世話をやかせない立派な独り立ちのおとなになりたいと念願しているのです。

満二才の誕生を迎えて、このようなけなげな気持を持っている私を、どうぞすえ永くお見すてなくはぐくんで下さいますよう御願いして、誕生日を迎えたごあいさつにかえる次第です。

※　※　※

※　※　※

なりました



賀集裕子

ピアノ

リサイタル

6月14日 PM7.00

15日 PM6.30

イタリー協奏曲
バッハ

十七世紀末のイタリーでは新しい音楽の形として協奏曲が生み出された。十八世紀になりヴィヴァルディの作った協奏曲から強い印象を受けて、バッハは沢山の協奏曲を作っているが、その中で、全く新しい道を発見したといわれているのは、彼自身の言葉によれば「イタリー趣味に従って」作られたピアノ独奏のためのこのイタリー協奏曲に於いてであるということが出来る。この曲において彼は二重鍵盤のチェンバロの効果を用い、種々な音域を互に対比させ、テュティと独奏の部分とを区別するためにフォルテ（強声）とピアノ（弱声）によって彼はそれを、明確に表現している。

ソナタ十四ノ一
ベートーヴェン

作曲十四の二曲は「悲愴」に続き一七九八年七月迄に作曲された。ベートーベンはこの頃「悲愴」時代の苦悩に対する自己陶酔からさめて、一時快活な気分になりました。これはベートーベンのピアノ・ソナタのなかでも、もっとも、簡易なもののひとつで、優雅な、愛らしい曲調をもっている。

ベートーベンの側近であった、シントラーは「このソナタには二つの主義の争いがあり、男女の対話が認められる」と述べている。日本ではしばしば「夫婦喧嘩」と呼ばれているのは、この比喩的な言葉に、夫婦を結びつけて、親しみの感じをあらわしたものであろう。

第一楽章 アレグロ ト長調
四分の二拍子。ソナタ形式

第二楽章 アンダンテ ハ長調
二分の二拍子。変奏曲形式

第三楽章 スケルツオ アレグロ・アッサイ ト長調
八分の三拍子。ロンド形式

子供の情景
シューマン

シューマンの数ある曲のうちでもこの曲は比較的ポピュラーである子供のもつ童心の世界を書いたもので、決して子供のために作曲されたのではなく、大人の心に浮かぶ子供の世界であります。難かしい演奏技巧を避け、形式の均整書法の明析、心情の深さといった点にこの曲の本質があり、ピアノ曲のなかでも不朽の名作たる理由があるのでしょう。

十三曲には夫々題がつけられていて、内容をいかにも的確に表現しています。この標題についてシューマンは「各曲の標題はもちろん出来上った後から生れたものでただ演奏のため、理解しやすいようにと思って一層くわしい指示をした以外の何物でもない」と云っています。これは、この曲に限らずシューマンの音楽の標題についての問題を明快に説明しつくしたものといえましょう。

第一曲「見知らぬ国々と人々について」
第二曲「不思議なお話」
第三曲「鬼ごっこ」
第四曲「おねだりをする子供」
第五曲「大満足」
第六曲「重大事件」
第七曲「夢想(トロイメライ)」
第八曲「いろりばたにて」
第九曲「竹馬の騎士」
第十曲「真面目くさって」
第十一曲「こわがらせる」
第十二曲「眠っている子供」
第十三曲「詩人は語る」

前奏曲嬰ハ短調 作品三の二 ラフマニノフ

ラフマニノフはピアノ独奏のための前奏曲を二十四曲作曲しました中でも嬰ハ短調は最も傑れた曲として、全世界で愛好されるに至った。曲はモスクワのクレムリンの鐘の音を暗示するという深い響きを湛えた楽想に始り、暗いロシア的情緒を漲らせて進行する。

前奏曲ト短調 作品二三の五 ラフマニノフ

アラ・マルチア（行進曲風に）という指定で四分の四拍子のリズミックな伴奏型ではじまる。低音にロシア民族風のメロディーが起ってきれぎれに聞こえる。勇壮という程ではないが底力のある行進曲調が進むと、中間部はウン・ポコ・メノ・モッチの流れるようなアルペッジョの伴奏に、哀愁を帯びた旋律が歌われ、再び第三部の行進曲調へ返って行く。

オンディーヌ（水精女） ラベル

〃恋をささやく水の精〃オンディーヌ、ピアノのトレモロの中に月、窓、沈かな湖、古城にいる貴婦人の姿を浮かべます。水のゆらめきのようなアルペジョに支持されて半音階的な旋律なの流れがピアニッシモのグリッサンドの中に消えます——。歌ささやきて水精女はわれに乞いぬ。わが指環を御指にうけてオンディーヌが花婿となりたまえ——。

エチュードNo.11 No.12 スクリャビン

アレクサンドル・ニコラヴイッチ、スクリャービンは一八七二年モスクワに生れ、一九一五年同地に死んだ。

はじめピアニストとして認められ、ショパン風なピアノ曲を作曲したが、のち次第に神秘的傾向に走り、独特な和声と音効果による新しい音楽の境地をひらき、近代ロシア音楽のさきがけをなした。

ベルスーズ ショパン

本来は声楽曲であったが、器楽曲の名称ともなったもの。優しくゆするような伴奏の上に、抒情的な旋律を歌わせたPf、または他の楽器による器楽小曲、通常やや緩徐な6/8拍子である。ショパンが作曲した、ただ一曲の「子守歌」は一八四三年作曲され、弟子のカヴァール嬢に捧げられた。ベルスーズとは子守歌という意味で、左手の終始変りない一小節単位のオスティナートはゆりかごのゆれる様子を表わしています。

ポロネーズ二六の一 ショパン

ポロネーズは、十七世紀頃のポーランドで、国家的な行事や祭典などで踊られた国民的な舞踊曲です。ショパンは母国の民族舞曲をその歴史の栄光と、現在の悲哀や憤怒、そして未来へのゆううつな予感を現わしました。この曲は全体を通してポロネーズのリズムは保持されていますが、その性格は円舞曲を抒情的に変えたように、ポロネーズ本来の舞踏的なものを情緒の表現に置きかえられています。

バラード第一番 ショパン

十四、五世紀頃フランス北部にあった舞踏歌で、十八世紀に入ってから一種の叙事的な詩の声楽曲に作り上げられました。バラードを譚詩曲というのはそのためで、ショパンによってその特徴をピアノ曲に移されました。ショパンはバラードを四曲書きましたが、これはショパンの最大傑作中に数えられるべきものといえます。

バラードの形式は自由で、何か或る「話」を物語っているような叙述風な音楽です。

労音ミュージカル実現へ

作家 寺山さんを囲んで話し合い



去る五月二十三日市内鯉保別館で、関東労音ミュージカルの脚本を執筆する寺山修司さんと会員との話し合いが行われました。

関東労音では先の高崎での連絡会議の席上、関東八労音（宇都宮栃木、両毛、高崎、熊谷、秩父、水戸、日立）としてミュージカルを自主製作しようという意見が、二、三の労音から出され、今年三月の水戸での連絡会議で最終的に製作を決定し、関東労音ミュージカル実行委員会がつくられ、各労音から代表が出て、ミュージカル製作の経験をもつ東京労音との話し合い、寺山修司、田中好道、坂本博士、など専門家との話し合いを進めて来ました。

その中で実行委員会では、会員みんなが楽しめるようなミュージカルをつくるためには、よい脚本家を選ぶことが一番大切であるという結論を得ました。

また、会員の希望が反映されるような形で製作したいということも話し合いました。そして、寺山修司さんが、そうした私たちの希望に最も適する人として選ばれたのです。

寺山さんは、本来は詩人ですが非常に活動の巾が広い人で、テレビやラジオのドラマを書いたり、「新週刊」で対談をやったり、NHKの立体ミュージカルの脚本を書いたり、その他豊かな才能で従横に活躍している人です。

労音には、深い理解を持っており、今回の座談会も、関東の各労音の会員の人たちと話し合って、みんなが楽しめるような脚本を書きたいという寺山さんの発案で行われたものです。

当日は、約二十名の会員が出席し、笑い声の絶えない、なごやかな雰囲気の中で活発な話し合いが行なわれました。

最初寺山さんから「みなさんがミュージカルに対してもっている夢を話してください」と持ち出され、ひとり一人いろいろな意見を出しましたが、その中で大中寺の七不思議など栃木にある民話がいくつか話題になり、寺山さんも「それは面白い話しですね」と興味を示されていました。そのほか、内容は明るくて楽しいものがよいとか、劇的要素が強いものがよいとか、また、出演者はどういう人がよいとかという問題では、演技力のある人という希望が多く、男では森繁久弥、フランキー堺などコメデアン的な人が出たり、女性では江利チエミ、草笛光子などが出ましたが、美空ひばりや飯田久彦のようなタイプはいやだというような意見も出ました。

こうした会員のいろいろな意見に対して、寺山さんのユニークな見方、考え方が話され、大変興味のあふれた、また収穫の多い話し合いとなりました。

ミュージカル実行委員会では、今後更に、寺山さんをはじめ、専門家との話し合いを進め、具体的な製作過程でも会員の声が反映できるような体勢で取組んで行く方針です。私たちが私たちの力で、ミュージカルを創作するなどということは以前は全く想像もできなかったことですが、今こうして現実に、製作に着手したわけです。

他の連絡会議に先駆けて、関東労音が意欲的に取組んだ「私たちの音楽をつくる」この活動に会員みんなが深い関心をもって参加して行きたいと思います。

こんなものを、こんなことをして貰いたいという要望がありましたら、どしどし御意見をお聞かせ下さい。

寺山さんのお住いは

東京都杉並区和泉町七六五

寺山修司

宇宙人と共に合唱

新制作座の若者たち

二月例会に出演し、若さを力いっぱいに振りまいた新制作座の若者たちは、去る五月二四日大阪市に於けるガガーリン少佐歓迎大会に出演して、得意の日本民謡やロシア民謡を披露しました。

そのエネルギッシュな演技に宇宙人ガ少佐も感動、手拍手をとっていましたが、最後には舞台に立ち、共に「モスクワ郊外の夕べ」を合唱しました。

ニュース

サークル交歓会が開かれました

〝ゆく春に別れおしむかそよ風よ〟去る五月二十六日（土）ヤマト文化服装学院に於て会員の親睦をはかるための交流会が行われました。今回は特にヤマトサークルからの要望で、神島、TRC、硬石、日立、ハチス、下都賀病院、栃木合唱団市役所の各サークルから五十余名の参加がありました。自己紹介のあと、さっそく例会について話が始まりました。



二月例会（新制作座）は良かったとの声が強く、その反面一月例会に招いた（古川太郎とその社中）では琴は良かったが内容が悪くもっと考慮願いたいとの声、その他、会費、企画についても意見が交されました。

委員の指導よろしくやわらいだ空気は、そのまま第二部のコーラス、フォークダンスに運ばれ、ここでは、フォークダンスにヤマトの理事長先生も加わり、なれないおどりにスリッパにげられ、ひらいたままの足をもとにもどすのに一苦労するなど、笑って笑って笑いのうちに第三部のキャンドルサーヴィスへうつされました。

灯消された室の中に会員の手にしたローソクの炎が静かにゆれて各サークル代表者の方から誓いの言葉が交わされ、再びフォークダンス、コーラスでこの会は楽しく終了しました。どうですか？あなたのサークルでも交流会をひらきませんか、労音でむすばれた私達がこうして集りこうして話せる事は、どんなに素晴しいことでしょう。一ひらの花の中にも短い時の中にも幸せがあるのです。

あなたの手で私の手で労音の明るい未来を約束しましょう。

楽しい榛名湖畔のキャンプへ
みんなで行きましょう

先月の機関紙でお知らせしました関東労音友好祭の楽しいスケジュールが決定いたしましたので、お友達をお誘いの上、多数御参加下さい。

記

月日　七月二十一日（土）
　　二十二日（日）
場所　榛名湖畔　一泊二日
人数　百二十名（先着順）
会費　一、二〇〇円（自炊せず）
集合場所　栃木駅前
集合時間　六時半
スケジュール
ハイキングコース（二日目）
㋑榛名ロッヂ―榛名富士―榛名湖―ヤセオネ峠―沼の原
㋺榛名ロッヂ―松の沢―スルス岩―沼の原
㋩榛名神社方面
沼の原にて全員集合スイカ割りを行います。

労音対抗運動会（第一日目）
綱ひき
パン食い競争
ボール送り
ドッヂボール
百足競争
三人四脚
借り物競争
参加者は必ず一種目に出場していただきます。得点をとりますから、大いにがんばって下さい
友好祭をより楽しく思い出あるものとするため、会員のみなさんの協力を期待しています。
申込み期間
六月十四日～六月二十三日

ピアノ教室発表会

第四回小根沢和子ピアノ教室発表会が、六月二十四日（日）午後より栃木市中央公民館で開かれます。賛助出演　日大芸術学部ピアノ科教授　粕谷喜久子、その他。メゾソプラノ、ヴァイオリン参加があります。

プログラムは事務局にあります

親しみのあった
大谷冽子さん

二日午後二時より中央公民館に於て栃高生徒会主催第七回音楽鑑賞会が開かれました。

出演はプリマドンナとして私達に親しまれている大谷冽子さん。

曲目もイタリア歌曲のカロミオベン、フニクラ、フニクリを中心に楽しい歌、この道など日本の歌も組まれ、最後に或る晴れた日を歌い聴衆を魅まつけていました。

伴奏は三石精一さん、独奏で別れの曲、幻想即興曲を披露、サービスしました。




2月 新制作座フェスティバル

梅雨明けを思わせる、さわやかで楽しいハーモニーをきかせてくれた**東混**プログラムは「めだかの学校」「どんぐりころころ」「おおひばり」等である。

とても可愛らしい。印象的だったのはプログラム最後の「行けモーゼ」機関紙をめくると愛の神、ヴィーナスを思わせる女性のスケッチが目につく。

七・八・九月は、タンゴ（イタリア）民謡、シャンソンと続く。いづれの場合も会場の暑さにもまして、若い人達のあつさは相当なものだ。

藤沢嵐子の情熱あふれる歌い振りは、御主人の指揮するバンドとぴったり息があっていて素晴しい。

五十嵐喜芳の歌は、来栃二度目とあって、親しみも増加である。洋放で甘美な歌に恋人のおとずれを感じる。氏は太平山をそぞろ歩いて曰く「太平山の卵やきはうまいネ」

シャンソンも楽しくてよかった**芦野宏**は、私達に花束をなげかけ広い会場をしあわせでいっぱいにしてくれた。自作の「わんこそば」や「幸福を売る男」等を私達にのこして栃木を去る。

幅広いレパートリーをもつ**安川加寿子**を迎える。プログラムのなかでは特にラベル、ドビッシーがよい。それにもまして素晴しい発見は、安川加寿子は、ピアノをはなれては平凡な家庭人であるということ。


6月 東京混声合唱団



5月 東京労音新交響楽団


3月 岡田博 アコーディオン


9月 芦野宏独唱会


10月 安川加寿子ピアノ独奏会

会場の控室や周囲には、若い人達と花束でいっぱい。**アンサンブル・フォンテーヌ**のメンバーや、メンバーの一人である当地出身の飯田芳江さんのお友達やお知りあいの方達である。平均年令十七、八才ときく。鷲見三郎の指揮で立派な演奏だ。「若き芸術


4月 井上頌喜チェロ独奏会

わたしは満二才


1月 古川太郎とその社中

家」という言葉がぴったり。

クリスマスを目の前にして十九・二十日はジャズ例会。この日を一年も前から心まちにしていた人達もあったようにきく。若き情熱をかきたてる異常なドラムの響きは血のにじんだ白木秀雄の指から若き体から出たのだ。お手つだいの彼女達、すわっとばかり指の手当をしてあげる。

新春は、日本古来の音楽に目をむけようとの意図で栃木労音発足以来初めての箏曲例会をもつ。古川太郎の私達に少しでも箏曲というものを理解してもらいたいとの誠意ある演奏とお話に寒さを忘れる。

「この若者達をみて下さい」で始まる新制作座フェスティバルは若さがすべてとも云える歌あり踊りありの舞台だった。感想は非常に好評。メンバーは、すべて自分達の事は自分達で片ずけているとの事。キッチンの「お知らせ」にこうある〝今日の夜食、お雑煮、モチ三切〟開演三十分前、私達と同年輩の彼氏、彼女が集まってくる。「ああ、お腹ペコペコ」「うまそうだナ」勿論、セルフサーヴィスである。


11月 アンサンブル フォンテーヌ


8月 五十嵐喜芳独唱会

岡田博のアコーディオン演奏、氏は、栃木労音で演奏出来るのを大変喜ぶ。初めての試みというメンデルスゾーンのヴァイオリンコンチェルトをアコーディオンで演奏する。同行のメンバーは、ニックネームをつけてみたいような楽しそうな面々だ。手の指の動きに驚く。

四月 チェロと雨

二日の内、一日は急に雨が降り出したためか空席が目立つ。さみしい限り。チェロは、私達に親しみにくい楽器だが、聴いてみると実に素晴しい事がわかる。「人間味あふれた井上氏の演奏に感激しました」とは多くの会員が語った感想だ。尤も人間味にあふれた演奏は、その人柄からくるのだが、私達が氏と向い合った時、氏の「アッハッハ」の笑いでとたんに氏に対す親しみが増すのだ。


12月 白木秀雄クインテット


7月 藤沢尚子 オルケスタ・ティピカ東京

オペラがながれて、本年度の大物は、東京労音新交響楽団。メンバーは各人本職をもつアマチュアの集り、指揮は芥川也寸志。

発足五年で、今日までになったのは大変な努力だったと想像してみる。オケのもつ迫力にも増して各人の息の合った演奏の感動。惜しみない拍手。

第三回 総会

楽しい例会をみんなでつくろう
郷土の文化を育てよう
良い音楽を安く多くの人に

第三回総会は六月十日栃木市商工会議所において行われました。議長に合唱団サークルの渡辺全一さんを選び議事を進めました。新役員の改選にあたり三役には委員長藤森照尊、副委員長落合淳大、阿部道夫、事務局長相田政郎事務局次長大吉文雄の五名の方を選び、今年度の運営に当ってもらうことになりました。

以下は議案書を通して栃木労音の昨年の歩みと今年の方向をひろってみたものです。なおこの外に規約の改正も行われましたが昨年にくらべ大きく変化した事項はありませんでしたので割愛します。

昨年の足あと

まず昨年の各部が行った事業の内容とその反省を見て今年の事業のより活発化をはかってみます。

組織部

㈠ 二ステージの実現

よい音楽を安くより多くの人に——。この一年間の組織活動はいまだ多くの問題点を残してはいるが、二ステージを実現させて次への前進の足がかりを作り活動の進路を決定づけた。

㈡ サークルの強化活動

発足以来引続き行ってきましたサークル訪問は昨年度だけで二十数回行い一応の成功を収めました。又小規模で活動に自主性が乏しいと思われるサークルの充実強化を図り、サークル間の交流親睦を図るために交流会、交歓会を催しましたが、一部サークルの参加に終始した結果となりました。しかし年度後半に二、三のサークルが自主的に他サークルに呼びかけるようになり明るい見通しが出来ました。

㈢ アンケートの低い回答率

会員の実態を知るため会員の会に対する見方、考え方を知るためアンケートにより二回にわたり行いました。しかしながらその回答率はきわめて悪く栃木労音の発展のために大きな影響を及ぼすように思え、反省させられます。

㈣ 運営機関の問題

活動時間の制約、経験の違いによる委員会の不交流、その他活動の非積極性などが原因して委員会が低滞気味でした。二ステージにより会員数も二千数百名と倍加し組織が拡大されたのにつれその運営も一層複雑化して来ており早急に善処せねばならない反省事項です。

企画部

昨年の年間企画の中の大物例会であったオペラが実現出来なかった事が残念な事でしたが、一月邦楽、二月新制作座と非常な好評を得、今後の参考になりました。その他思いがけなく受けた例会、受けなかった例会があり、会員が今後も多くの例会を見て、栃木労音なりの独自の評価が出来るように思われました。

宣伝部

㈠ 機関誌について

昨年の目標であった広く会員の声を反映させる事は満足出来る結果だとは思えません。

その原因は各部の協力が少なかった事会員の労音に対する認識が薄いなどが上げられます。

しかし編集技術は充実し、一段と読みよい機関誌になりましたが全文当用漢字の使用とまでは行きませんでした。

編集内容もはっきりとページ割を行い表紙には「栃木」を象徴するものを主題にとり上げてみました。又音楽評論家丹羽正明氏には一昨年に引き続いて原稿を寄せてもらいました。

㈡ 労音ニュースについて

機関誌のニュースと内容的に重複する恐れがあったりして特性を出せなかった又配布方法や発行枚数に若干の問題を残しました。

㈢ 対外宣伝について

主としてポスターによりましたが、はる場所が一定せず効果はうすかったようです。

事業部

㈠ レコード・コンサートについて

毎月定期に行いましたが、低調でしたやはり企画がまずかった事やレコード・コンサートを催すに合った会場がないこと等が原因していたと思われます。

㈡ 友好祭について

夏のキャンプ、冬のスキーと二回にわたって関東労音を中心に友好祭が行われました。場所、宿泊その他種々問題はありましたが成功に終りました。特にスキーは非常に好評でした。

㈢ 労音祭・クリスマスパーティー

コーラス、フォーク・ダンスを主としたクリスマス・パーティーと二本立で行いました。今後その運営方法についてさらに研究の余地はありますが、事前にソシアルダンスの講習会を行ったりして、会員誰もが楽しめるよい企画だったと思います。

㈣ **その他の事業活動について**

その他竜王峡ハイキング、フォークダンス大会などを行い一応の成功を見ました。

又レコードや楽器の斡旋、映画入場券の割引などのサービス活動や、レコードテープ、音楽図書の貸し出しなどは周知徹底されなかったせいか低調でした。

財政部

一年を通じて黒字を続け一応健全財政を保持しました。又昨年実現しなかったオペラのための剰余金はそのまま次の機会のために持っております。

今年の栃木労音

今年度の活動方針を次の七項目にきめその線にそって各部が努力して行くようにきまりました。

一、運営機構のより充実をはかろう。
二、組織をもっと強めよう。
三、例会評価を活潑にしよう。
四、地域の理解を深めよう。
五、音楽センターを建設しよう。
六、会場条件をよくしよう。
七、長期の財政計画を樹立しよう。

組織部

㈠ **会員は勿論のこと、より多くの人に労音運動の意義を理解してもらおう。**

現在大半の栃木労音会員が「毎月の例会を聞くために労音に入っている」という人々です。しかしそれだけで満足していたのではより多くの人に良い音楽をということは出来ません。自分達の喜びを多くの人々にわけ与えるべきでしょう。

㈡ **サークル活動をより活潑にするためサークル内部の充実強化に努力しよう**

労音の基盤であるサークルの強化は、今まで内部的に充実されておりませんでした。このことに基づき会員自身と委員とが一つになって充実をはかりましょう。

㈢ **よい企画、よい運営をするために会員の声を積極的に吸収しましょう。**

「労音は私達会員のすべてのもの」です。この目標を実現させるために企画、運営にどんどん意見を出して下さい。

㈣ **常に労音の実情を知ってもらうため機関紙を通じて宣伝活動をより活潑にしましょう。**

企画部

通常会費の固定である程度長期の見通しが出来るようになったので、財政的裏づけのもとに例会の年間企画を持つようにしましょう。アンケートなどにより希望の多かった新制作座のような総合的なもの、以前から希望の多いダーク・ダックスは機会があれば出演出来るような体勢をとっておきます。一応今秋にソ連バイオリニストのウラジミール・マリーニンを栃木でもとり上げてみる予定です。又昨年問題になりましたオペラのための剰余金はそのままにしてありますのでそのまま次の機会をまちたいと思います。

関東労音で**ミュージカルの制作**が具体化しておりその例会も持てることは間違いありません。今までのどのミュージカルにも負けないすばらしいものが出来るよう努力しましょう。

宣伝部

㈠ **機関紙について**

身の囲りに常におき、機会あるごとに読めるようなユニークな編集内容をそなえたもの又生の会員の声を反映させたものにし、運営上の意見、委員会内の動きを知らせるようにしよう。

㈡ **労音ニュースについて**

労音ニュースの特性を出すために、運営上の意見等を多く掲載し、委員会の討議内容をたえず正しく会員に伝えるようにしましょう。

㈢ **対外宣伝について**

労音組織に対する無理解のため入会しなかったり、そのため運営上支障をきたす等の問題をなくし、正しい自己表示により一層の意義ある運動にしましょう。

事業部

会員の音楽的要求を満たし会員と会員との結びつきのために、音楽を中心としたよりよい人間関係を育てるよう積極的に活動しましょう。

㈠ **音楽講座、レコードコンサートについて**

会員の例会を月一回聞くだけではもの足りないという声にこたえ、音楽講座やレコードコンサートなどを活潑に行ないたい。特に音楽講座を定期的に開き、会員の音楽知識を高めたい。レコード・コンサートは昨年参加者が非常に少なかったので、今年はアンケートその他の方法で会員の希望する企画をし参加者を多くしたい。

㈡ **友好祭、労音祭について**

「我々の仲間は一体何を考え、何をやっているのだろうか」

会員同志が話し合える場をもって交流、親睦をはかれるようにしたい。

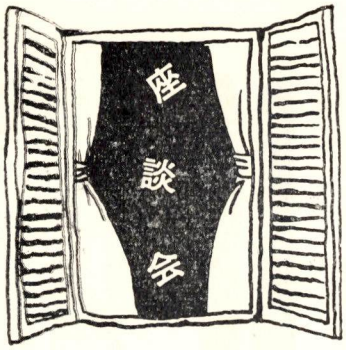
㈢ **レクリエーションについて**

会員がお互いによく知り、親交を深める点では友好祭や労音祭と同様大切なことです。

ハイキング、スキー、スケート、コーラスやフォークダンス、ソシアルダンスその他種々の催しについて会員それぞれの意見を出してもらい、健全な企画をもちたい。

財政部

通常会費が二〇〇円となりましたので年間の例会企画内容をけんとうし長期の財政計画を立てるようにしたい。やはり昨年と同じように黒字を続けて行き、財政的に大物例会が出来ないようなことがないようにした。



云うはやすく行いがたし

新響例会の余韻に酔いしれている各部の委員さん方に出席していただき、二年間の栃木労音の歩みを振り反り、また、新しく踏み出す三年目のために、種々話し合って戴きました。

「そうだんべー」調のなかから建設的なものが引き出されてきたのですが、紙面の都合もありましたので、本文はかたいものになってしまいましたことは残念に思います。

出席者　A B C D E F G 各専門部委員及び事務局員。

司会　栃木労音を反省するまえに何故私たちが音楽を求めるかと、いうことからお聞かせ下さい。

E　音楽を聴く理由?何かしら。私は聴きたいから聴く。知りたいから知る欲張りなのね。

G　ただ夢中で求めている状態なのですが、音楽になにかよりどころが得られるような気がします。

C　共通の話題を作るためにという会員もあります。

F　商店の人から聞いたのですが会員になっている人と会員でない人では違うっていうのですが、労音カラーでもあるのかしら。

E　共通の話題ということと関連するのではないかと思いますが、女性会員の多いということは。

B　女性の方が男性より感受性が強い、慰めや励みというものを音楽に求める。男性ならチョイと一杯ということも出来ますが。

司会　音楽を求める理由が共通の話題のためというなかに含まれている内容について。

B　人間関係というものをより緊密にすると共に気持を大きくしたいという欲求がある。

A　人間の成長ということ。むずかしい問題ですね。

司会　人間的な成長を進めていくという具体的なことは例会企画の面で触れることにして戴いて栃木市に於ける栃木労音の存在意義について、二年しかたっていないので無理に意義づける必要もないとは思いますが。

D　労音結成によって生の音楽を聞けるようにしたということは当然ですか（笑）

F　当然ですかと笑っていられるのですから何かある。そう、古めかしい街に新鮮味が感じられるということが言えませんか。

C　例会の日には感じられますね

A　栃木市に於ける音楽人口の発掘という点で、例えば発足時の予想を越えて、千二百名の会員が集まったという音楽人口の把握が出来たということも掲げられる。

D　喫茶店が増えたってのはどうでしょう（笑）

司会　冗談はさて置いて、栃木労音に対する栃木市民の間に於ける意識は如何ですか。

F　委員長や副委員長が会合に出ると経営主の方も喜んで家内や従業員を例会に参加させますなんて話ですから、かなり市民の間にも滲透しているのではないでしょうか。

C　家でも、労音で演奏した人がテレビに出るとチャンネルを廻してくれます。

B　音楽センターを建てようというスローガンがだされるようですが、こういう運動を起す場合でもやはり市民全体の盛り上がりが必要ですから、市民に労音を認識して貰うことに努力しなければならない。

司会　栃木労音の存在意義ということ、市民の意識ということから考えると栃木労音の性格が浮き彫りされるのですが、さらに、存るべき姿というか、理想に近づけるための問題について、たとえば栃木市を音楽の都市にしようとかオーバーですが。

D　労音の雰囲気にインテリじゃなければとかショッテイルというようなことが云われるのですが、もしあれば無くさなければならない。

G　インテリでなければ等の言葉は全然あてはまらないでしょう。

A　音楽に関する限り個人々々の受けとり方ですから、環境を良くするということは是非進めていきたいですね。

E　よい環境から優れた演奏家を育て上げ、音楽を創り出していくこと、ミュージカルの創作にしても会員の力で楽しめるものを是非お願いしたいと思います。

企画部

わかっちゃいねェ

司会　だいぶ出てくる問題が具体的になってきましたので、各部の反省と要望ということに入っていきたいと思います。まず企画部から人間的成長を進めるための企画ということについて。

F　それぞれの考え方によって異なると思いますが、広範囲の音楽を聞くということも人間的な成長を進めるのではないでしょうか。その意味からすればいままでの企画にはそれがあった。

A　その点では消極的であったと

云えます。邦楽例会と新制作座例会は積極的な面が出て来た。琴を理解し若者を理解したという点では。

司会　人間的成長ということには企画意図の明確化とか評価ということによってより具体化されると思うのですが。

B　個人個人によって音楽を聞いて来た経験とか音楽に対する素養というものが異なる訳ですから企画意図も「今月例会の音楽はこういう点で私達の生活感情と密着している。私達はこのような態度で舞台に溶けこみ、例会を盛り上げよう」というように親しみのあるものにして欲しい。

C　機関紙にある企画意図というものも硬い感じがする。通り一辺というような機関紙に載せるための企画意図では困ってしまう。

E　演奏者との交渉とか実務に追われて、例会企画意図も充分検討されない従って評価活動ということも出来なくなるという悪循環をくり返してはいけない

E　評価にしても整理券アンケートだけでは心もとない。各部との連携を保ち、組織、事業活動の面からも評価を生のかたちで吸い上げていかなければならないでしょう。

G　評価にかぎらず、企画する場合も生の声を取り出す必要があります。

F　ミュージカルとか国民音楽の創造とかを目指すならば、こういう地味地な活動が重要だと思います。

組織部
そうセーでもよかんべー

司会　労音の目的が良い音楽を安く聴くと共に多くの人々に音楽を広めるという問題があり、これを担当している組織部について、会員と運営機関の結合という点はどうですか。

D　これは弱い。残念ながら結合という点で欠けている。

A　会員組織の停滞以前に、委員会の弱点というか内部の結合の弱さに原因があった?。

G　まして、会員と委員会はということです（笑）

C　弱体の原因は委員の出てきている層が狭いことと、理論家でなくては入っていけないという様な雰囲気があった。だから部会には出席するが委員会には足が遠くなる。

B　委員会の雰囲気についてですが「おめえ、そうだんべー」で話合う様にするとか、会議の持ち方技術的な面の工夫が欲しい。

司会　委員会に魅力を持たせ、委員がまず会員の内に溶け込めば、会員の内から委員会にも溶け込むという訳ですね。これに組織の強化ということについて。

E　会員意識の向上ということで従来のサークル訪問からサークル交歓会という形式に変って、事業活動的な性格をみてきたのは上出来たと思います。

G　欲を言えば、委員は従の立場で主役はサークルの方にやって戴いた方が仲間意識の高揚という目的は達せられます。

B　回数が少なかった、これも委員側が主役を演じているうちは解決されないでしょう。過労に陥ってしまいます。

A　例会のお手伝いも最近人を見つけるのに苦労している状態とかこれから強化活動を期待したい。

F　委員になってくれる人を探すのに苦労するようでは（笑）

司会　会員の増減ということでは?まだ予約会員もいる訳ですが、二ステージになってから、退会者が多くなった?

C　企画内容によって変動あるんじゃないかしら、そういう面で企画部と組織部の検討ということが行なわれてもよい。

事業部
ダベりましょう

司会　事業部活動では、まず事業活動の本質ということについて、

B　レコ・コン等の努力は認めますが、いままでに事業活動の意義ということを考慮していなかったということで、事業部自身の劣弱さを指摘したい。

D　音楽を聴く立場にある私達は音楽をよりどころにした人間関係を生み出していくという活動がこの部の使命であると思います。

司会　具体的にはどういうことですか。

C　レコ・コンに例をとれば、今までは事業部で企画から実施まで全部やっていた訳ですが、会員のなかにはシャンソンなら絶対に自信があるとか、タンゴならまかしておけという人がいると思いますがこのような会員にレコ・コン一切を委ねるようにすれば良いと思います。

A　私も同感、茶道なら茶道の大家に、俳句なら俳句に趣味をもっている人達に企画運営してもらえばスムーズに運べるのではないでしょうか。

C　もし、不安なら委員会を試験台にすればよい。試験台によって委員会のカタクルシさが取り除かれることになれば一石二鳥。

F　勿論、二〇円会費のダベリング会をやってもよい。

G　想像しているだけでも、楽しくなるのですから、実施できたら素晴しいですね。

B　楽しさと共に横の人間関係を作ることが組織、事業部の使命ですから頑張って欲しいものです。

宣伝部
チンドンヤさんじゃないの……

司会　市民に対する意識の向上とか音楽の良さということについては活動できず、機関紙的な存在になってしまい司会者としても申訳なく思っているのですが、宣伝部について。

A　各部門の交流が緊密でなかったためか、会員の生の声というものに欠けていた。

C　生の声を吸収する努力が欠けていたのではない。

E　ハガキで例会感想を頼むだけでした。それも帰ってくるのが一、二通で、哀れです。

D　ハガキでは淋しいから、ラブレターのようにピンクのやさしい封筒で出したら？（笑）

司会　さきほどの企画意図で、機関紙で企画意図云々が出ましたので、機関紙が読まれているかということを一つ。

C　例会が良くて、感激した時は家に帰ってからも読んでいる。

F　反響が少ないということも、読まれていないためでしょうか。

D　カット、写真の使用に依って技術的には読みやすくしているつもりなんですが。

A　会員意識が薄いんじゃない？会員意識の向上ということで、新聞なら社説的なものを載せていく

B　むずかしくなく、身近かな問題から入っていく努力は必要だと思います。

E　表紙のことばで代行している社説的なものを発展させるようにすれば良いのではないでしょうか

C　会員やサークルから問題を投げかけて貰うような体勢を作っていくと非常に紙面も面白くなる。

司会　機関紙外の宣伝活動について、市民への積極的な働きはしていないが、ポスターなど市民に音楽の存在を知らせていると思うから貼布する場所なども考えて行くこと。

B　ポスター一枚でも会員外の人たちに音楽が存在しているというPRをしているし、このPRこそが一〇〇万人の労音作りの土台になっていることを改めて認識して戴きたい。

G　市民に音楽の良さを知らせるPRをした方が良い。音楽によって生活にゆとりを持とうということを。

財政部
ガメツイのが玉にきず

司会　お台所をあずかってきた財政部については如何ですか。

D　ガメツイから絶対。

C　健全財政を目標としてきたこの点は立派ですが、各専門部の年間予算が樹てられれば、もっとうまく運営できるし、各部の不平不満もなくなるでしょう。

A　例会関係の予算を第一にということから、組織、事業関係の予算が削られてきたのですが、いままでの事業活動、組織活動の弱かったのはここに原因がある？（笑）

B　事業関係では、夏ならハイクとか冬ならスキー、労音パーティーなどが計画されるのですから、年間予算で組んでもらうようにすれば良い訳ですし、会費も有効に使われるということです。

E　とにかく、諸物価値上がりの折に健全財政を維持してきたのですから、たいしたものです。

司会　ところで二〇〇円会費ということについてはどうですか。

F　今迄の一〇〇円とか一五〇円の追加会費を平均すると二〇〇円位になる訳で、代表者の方も一定会費の方が徴収し易いのではないでしょうか。

A　会費を値上げしても良いから内容の充実したものを企画せよという意見もあることですから、二〇〇円の会費で余剰金を積立てて大物例会をもつように努力してもらいたいですね。

G　労音の場合は会費イコール入場料でないということ、すなわちプレイガイドでないことがわかってもらえればいいわけですね。

司会　来年度も健全財政という線を守ってがんばってもらいたいものです。どうも長時間ありがとうございました。

女子高で音楽会

六月十六日（土）午後一時
中央公民館
金子　登指揮
芸大管弦楽団
ピアノ　山田さゑ子



―― 役目をおへて ――



▼いよいよ夏山のシーズンです。あんなつらい思いをしてどうして山へなんか行くんだろう。行く人の気が知れない。という人がいるこういう人は恐らく山へ行ったことのない人ではないでしょうか。もちろん山へ行って気になるのは天候です。雨に降られてビニールの雨具を頭からかぶって、下を向いて歩くことは実につまらないことです。しかし、天候に恵まれればどんなにつらくても頂上へ向って行くでしょう。そこにはすばらしいものが待っているからです汗ばんだ肌を快い風がなでて行きまわりの景色は実にすばらしい苦しかったことはいっぺんにふっとんでしまう。山へ行かない人の気が知れない。（寿雄）

▼木も草も、静かにて梅雨はじまりぬ。

つゆに入るまでのわずかな季節の、谷間の様なやすらぎをこの頃の朝夕に感ずる。栃木に芽を出しすばらしい成長で三年目を迎える労音、過渡期におけるさまざまな問題は、植物に梅雨が必要である様に、更に充実した大木になるために吸収して夏に備えよう。

末尾に委員として微力であった事を反省している。何年目を迎えても労音活動には新鮮な積極さを持っていたい。（河田）

▼言必信、言必果。という言葉がありますが、私たちの活動を進めていく場合、守られなければならない言葉でありましょう。

与えられた役目の重さに、しばしば、挫折の念を抱いたこともありましたが、周囲の励ましで、歯をくいしばり、この言葉を守ってきたつもりです。

しかし、このために、自分のエネルギーの全てを費いやしてしまったのではないかと反省し、今後は無理のない活動をして戴きたいと希望いたします。

最後に、両毛印刷の宇賀神さんの御理解や、休日返上までして機関誌印刷に尽力されてきた印刷所の方々に心から感謝いたすと共に今後の御協力を御願い致し、二年間の宣伝部員の役を解かせて戴きたいと思います。

機関誌よ可愛がられなさい！（郡司）

▼秋風の立ち始めた九月に入り、早や十ケ月、みどりの六月に宣伝部員一年生も終業の時となった。何げなく読み、すぐ捨ててしまっていた労音の機関誌も大切に保存しておく様になったし、他の雑誌やくだらないと思っていた宣伝ビラ等々、何かの参考になればと考えると粗末にも出来ず、本棚に積み重ねてしまう。梅雨に入りしっとりと落着いたムードにひたりながら「労音活動とはいかに行われるべきか」「はたして音楽の本質はどのようなものであろうか」と再々論じ合うのも楽しいもの。平和な世の中がいつまでも続く様に。（片岡）

▼編集の仕事にたづさわって早や一カ年、当時にくらべ労音の進歩は実にめざましいと思う。これも皆会員の皆様や各委員の方達の努力によるものと思います。一年にもなれば少しは仕事の方も板についてもよさそうな頃なのに、なかなかむずかしい事ばかりでそうもゆきませんが、自分の好きな仕事をもつと言う事は慰安にもなり、又生甲斐でもあります。

月毎に発展して行く労音の歩みと共に今後も許すかぎり、あたえられた仕事にファイトと情熱をもって続けて行き度いと思います。（小林）

▼労音一年間の回想は、私の部員生活一年間の回想でもある。

労音の足並みもそろい、部員もピッチを上げた頃、よき先輩に囲まれた部員生活が送れた私は幸せ者。

音楽知識皆無の私は、知識増進のよきチャンスとばかり頭をつっこみ、筆をにぎりしめて来た。記事の編集、レイアウト、校正、役員会等等、初体験で得た貴重な知識は、私の人間形成に大いに役だってくれる事だろう。（野沢）

▼労音発足以来、機関誌の表紙の写真をとりつづけてきたが、未熟なために、思った通りの表現が出来ず、はがゆい思いの連続でしたそれでも誌名「とちぎ」にちなんで一貫した思想をおり込む事に努力はしたつもりです。尤も努力といっても、労多くして何とやらといったたぐいのものですが……。来月からは、表紙担当がどなたになるかわかりませんが、あたらしい企画でお目見えする筈です。会員の皆様と共に、大いに期待したいと思います。

長い間もんくも言わずにまずい表紙をながめてきてくださって誠にありがとうございました。（知久）

▼総会にのぞむ委員会の体勢も出来上って来た。この一週間なんとなく落つかず議案書作成に、機関誌に、部会、運営委員会にと年度末のあわただしさに流された感じだ。

この一年私的生活の大部分を労音運営のために、微力ではあったがつくしきったという感じだ。社会的時間の外に同じだけ自分の時間があるのだそうだから誰か恰好の人と街をブラつくことぐらいは出来そうな気がしたが、ついになかった。誠に残念だ。

新委員になられる方も静かにファイトを燃やしていることだろうから、我々も努力しなければならないだろう。とにかく三年目の危機などは少しも感じさせない人達ばかりで今後の前途は洋々と思える。（相田）

▼土蔵にのるくすんだ瓦並が、入梅のはしりを思わせる長雨に、ぜいたくな光をつけている――そんな六月。

此の栃木に、ピアノの野辺地さんがショパンを弾いて労音が発足したのも、三年前の雨の六月でした。

▼二十四回の機関誌をつくって思うに、満足した、そして印刷屋さんから督促を受けなかった号はありませんでしたが。みんなが出来得る力を出しきって頑張ってきたその協力の力強さと美しさを知り得たのがせめての収穫です。

原稿用紙を忘れた七月のハワイアンを心楽しく待っています。（落合）





座談会



例会二日目終了後、公民館ロビーにおいて新響団員の代表の方を囲んで座談会を開きましたが、出席された会員の方はほとんどが女性でした。

司会　団員の皆様どうも御苦労様でした。早速ですが、これだけのオーケストラをやるには一人一人の目的を通じて、共通した点があると思いますが……

新響　始めは同好者の集まりでしたが、アマはプロと違い経済的制約に縛られる心配がなく、自由にできるということです。現在二つのオーケストラがありますが、熟練者と新米の人に分け練習しています。

会員　現在まで労音に出演したのは何回位ですか。

新響　五回ですが、地元（東京）では四月例会が始めてです。労音としてでなく音楽会、その他の催に出演したのは何回かありますが。プロのオーケストラを聞くには費用が大きく、聞く機会がないと思うので出来るだけ多く出演したいと思っています。特に地方の労音へ。

（芥川さんが着替えて入ってきたので拍手で迎える）

司会　紹介するまでもないので紹介しませんから続けて下さい。

会員　団員の平均年令、既婚者と未婚者の割についてお尋ねしたいんですが。

新響　平均年令は二十五、六才位です。又既婚者と未婚者は半々位ですね。

会員　学生は入っていますか。

らくがき帖

○歯切れのよい曲、なめらかな旋律、生の音楽の素晴らしさにただうっとり、力強い指揮者にカンゲキ！カンゲキ！　一九子

○指揮者に何もかもまかせて演奏している一人一人の心が、一つのかたまりとなって私の耳に飛び込む、私の頭脳をひびかせる、まったくの感動。　A子

○舞台上手のプログラムに主催者の暖かい思いやりが感じられて嬉しかった。エチケットをうんぬんする前に、まず判らせる工夫が大切と思う。楽しい例会を作り出した縁の下の力持ちの方々に感謝したい。　Y・O

○休憩時間に歌唱指導をして戴けたらと思います。他の機関誌を見せて貰ったのですけど、機関誌の中に楽符を加えてあるので大変よいと思いました。栃木労音でも取り入れていただけたら幸いです。　県職K

○ステレオを何十台も一緒に聞いたようにすばらしく、二〇〇円の例会が四〇〇円にも思えた。

快ろよい真剣な気迫



「初心忘るべからず」とは世阿弥の芸道を志す人々に与えたことばですが、新響をきいて、この初心ということが、芸術を表現する上でどれほど大切なことかとつくづく感じたことでした。

新響の演奏技術は決してうまいとはいえません。管楽器の弱さも目立ったし、アンサンブルのうまみという点でも難点があったと思います。しかし、それでもなおその演奏は感動的であり、魅力的でありました。それは、初心のもつ真剣な気迫、人間らしい温かみというものが、私たちの心をとらえたからだと思います。

特に民族性の強い、シベリュウスとチャイコフスキーの作品は、楽しく、また充実感をもってきくことができました。

新響が更に技術的な面を克服することによって、民衆の生活に根ざした作品が民衆自身の手で創造されるという理想が、見事に結実することを期待したいと思います。

新響　高校生が入っています。

司会　この会場についてどうでしたか。

新響　思ったより良かったですね。

（団員顔を見合せてうなずく）

会員　芥川さんにお尋ねしたいんですが、指揮をしていてアマチュアとして演奏者の技術はどの程度ですか。

芥川　ソヴィエトはうまいですね。日本の本職よりうまいです。ソヴィエトを除けばいい方ですよ。この新響には各人が信念、信条をもっているので同好会とは違います。趣味の範囲を越えて、会員同志が楽しむと同時に、演奏者と聴視者、との心のつながりが必要でうまいばかりが能じゃないですよ。オーケストラは誰でも、どこでもやる気があればできるのだから、あなた達でもできますよ。

会員　団員から見た先生はどうですか。

（団員一同顔を見合せてニヤニヤ）

会員　練習はどの位やりますか。

新響　週一日で二時間位です。

会員　芥川さん、新響の指揮者となられた動機は？。

芥川　振り返ってみてああよかったなというような生活は誰でも望んでいると同じように、魅力があり、見込みがあるからですよ。

会員　新響が日本人の作品を取り上げることはありませんか。

新響　計画には以前から入れてありましたが、色々な事状で実現されていません。

会員　先程団員には高校生が入っているということですが、出演の場合、学校を休むようなことはありませんか

新響　出演日程には土曜、日曜を計画しているのでそのようなことはありません。

司会　それではお帰りになる時間がきましたので、まだ色々お尋ねしたいことがあると思いますが、今日はこの位にして、新響が益々発展しますよう団員皆様の御多幸をお祈りし、拍手でお送りしたいと思います。

パパチチパチパチ……

なお、一行は午後四時四五分上野行で帰京されました。

○労音喫茶店が欲しいんだけど……皆んなそう思わない？

—賛成—

○今月の例会は天候に恵まれ会員の皆様が気持ちよく出席されたと思います。しかし、この東京労音新交響楽団が大衆の会員の人達には少しクラシック的であると共にせっかくの例会であるし、会員の皆様から要望に応えて楽団を披露させて頂きたいと思います。労音ですからアマチュアでもいいし、又出来ればプロの楽団にしてもらいたいと思う。ただ太鼓をはたいているような音楽ではおもしろみが御座居ません。これからも引続き色々な音楽家がお聞かせ下さると思いますが、労音の役員の皆様これからもっとよい楽団を招待されたいと切に願望致します。

S・H

○時間を厳守せぬことは、演奏者に対し失礼である。栃労の皆さんもっと常識を知ろう。

演奏中に歩くことはもってのほか。

○ベルが鳴ったら静粛にしよう。特に電気がきえたら。

コニーアイランダース





7月例会

7月24日 PM 7.00

7月25日 PM 6.30

中央公民館

エセル中田

ポス宮崎と

プログラム

第一部　コニーのすべて

1. ブルーハワイ
2. ハメ・ピラ
3. ケ・アリ・フル・マモ
4. ホエ・ホエ
5. オ・マカラプア
6. タンガ・ティカ
7. カウラナ・オ・ヒロハナカイ
8. スィート・サム・ワン
9. レイ・アロハ・レイ・カカマエ
10. ロック・フラ・ベィビー

第二部　ハワイアンによる ジャズと民謡集

1. ラブ・レター　バンド演奏
2. キャラバン　〃
3. エブ・タイド　〃
4. 第三の男　〃
5. バリ・ハイ　〃
6. 七つの子　唄エセル・中田
7. 木曽節　〃

第三部　エセルと共に

1. カイマナ・ヒラ
2. エヒナ
3. ブルームウムウ
4. マウイ・チャイムス（演奏）
5. トミ・トミ
6. サヨナラも云わないで
7. リリウエ
8. ペーガン・ラブ・ソング
9. アロハ・オエ

出演メンバー

エセル中田　ハワイアン・ソロ・シンガー

ポス・宮崎　ハープ・ギター・リーダー

三橋　渡　ギター　マネージャー

脇谷　隆　ウクレレ　ヴォーカル

岩佐　三郎　〃　〃

和田　光一　〃　〃

山崎アキラ　ギター　〃

木村　茂　〃　〃

塩田　豊三　ベース

お知らせ

会費受付

七月例会の会費は次の通り受付けます。

希望日予約期間

七月一〇～一一日

希望日の予約は代表者の方にお願い致します。

尚、電話でも結構です。

会費受付期間

七月一四日～一八日

受付期間内に納入されない場合は退会したものと認め、予約会員の方に入会して戴きますので、必ず受付期間を守って下さい。

受付時間（時間厳守）

午前一〇時～午後五時半

代表者手帖を持参して下さい。（一時～二時昼休み）

日曜日はお休みです。

お手伝い ごくろうさま

五月例会には次の方々にお手伝い戴きました。

一九日 接待係

増山、金子、寺崎（BW）
柏崎、橋爪、毛塚（地上短歌会）

受付係

若林、早乙女、福田、大出（くろんぼ）

ドア係

渡辺（スリーフレンズ）

会場係

海老原（修睦会）

二〇日 接待係

藤森、坂本、多々羅、渡辺、小林（セント）

受付係

小林、安形、荒井（郵便局）
三沢、牛久（セント）

ドア係

矢島（セント）清水（郵便局）

会場係

石橋、鈴木（セント）
高岩、鈴木、今泉（二杉）

色紙当選者

5月例会の色紙当選者は次の座席の方々です。当選された方は事務局へお出で下さい。

19日		20日	
に	1	I	3
そ	45	と	38
へ	48	ぬ	5
に	42	へ	14
を	12	へ	15

関東労音 今月の例会

宇都宮　諏訪根自子

高崎　外山　滋

熊谷　藤原歌劇団合唱

秩父　深緑夏代と寺島尚彦のジョイントリサイタル

水戸　巌本　真理

日立　〃

両毛　N響管楽器

〃会員証更新の件〃

今迄大変皆様に御迷惑を、おかけ致しておりました会員証の更新を、現在事務局にて行っております。代表者の方は、旧会員証を、とりまとめて、事務局迄御来局下さいます様お願いします。

尚旧会員証は無効となりますから御注意下さい。

会員の皆さん 御存知

○もしあなたが整理券を紛失してしまったとき

代表者に券番号と紛失理由を届けて下さい。代表者の届出により再発行致します。当日会場での紛失届けは困りますので、代表者に事前に届けることを守って下さい

○サークルNo.代表者名を知っておいて下さい

連絡事項などはすべて代表者を通じて行うことになっています。色々な申込みの時など会員のサークル名などが必要になりますので是非知っておいて下さい。

○他のサークルに移りたいときは

都合で他のサークルに移る場合には必ずあなたの代表者と新しく移動するサークルの代表者に連絡して下さい。会員から届出があった場合には代表者の方は次のことを必ず実行して下さい。

会員が移りたいというサークル名と会員の名前を連絡して下さい。

移動する場合、以上のような連絡をしていただかないと会費の二重払い、転入、転出の手続きが出来ないままになってしまいます。

○現在のサークルから独立して新しいサークルを作るときは

先ず代表者にその旨、連絡して下さい。新しいサークルでは移動して来た人の名前、代表者名、サークル名、連絡先を事務局に連絡します。

関東労音内の 総会日取

宇都宮——6月10日午前10時
東武デパート5階

両毛——6月3日午後1時
足利市役所

熊谷——6月3日午後1時
物産陳列館

水戸——6月24日午前10時
茨城新聞社3階

秩父——6月10日
時間場所未定

榛名湖畔への誘い

関東労音友好祭が榛名湖畔で開かれます。栃木労音ではこの機に会員の交流をはかろうと思い参加者を募っています。申込は先着順ですからお早めにどうぞ。

日時　七月二十一日（土）
場所　榛名湖畔（湖一日）
会費　〇、二〇〇円
出発時間　午前七時
人員　百十名（先着順）
申込場所　事務局
申込期日　六月十四日～六月二十三日

1962.6.14. No.24　発行・栃木勤労者音楽協議会　編集・宣伝部